令和8年2月末 資産運用状況について

令和7年度の資産運用は、日経平均、NYダウがともに史上最高値を更新する等、国内外の株式相場が急騰したことにより、高い収益率が見込まれています。日本経済は懸念された関税の影響が軽微なものに留まり、企業収益も高水準で、賃上げの定着も期待されています。米国でもIT関係を中心に企業収益の改善が見られ、AI投資も高水準で推移しています。金融政策では米国が12月に今年度3回目の利下げを実施したのに対し、日銀は同月に利上げを行い、国内債券の収益率は依然厳しい状況が続いています。

令和7年4月から令和8年2月までの11ヶ月間の主要四資産の市場収益率は、国内債券▲3.605%、国内株式+50.160%、外国債券+13.802%、外国株式+32.057%となっています。

当基金では、政策的資産構成割合に基づき保有する内外の株式の高パフォーマンスにより、同期間の資産全体の運用利回りは+13.305%となっています。

なお、格付投資情報センター(R&I)が公表している約120の確定給付企業年金基金の令和7年4月から12月までの9ヶ月間の運用利回りは+7.29%であり、当基金の同期間の運用利回り+9.112%は、これを大幅に上回っています。

今後は、4年が経過したロシアによるウクライナ侵攻に加え、米国とイスラエルによるイラン攻撃等、世界各地での緊張の高まりが懸念されています。

1 受託機関別運用状況

(上段 資産額：百万円／下段 通期修正総合利回り：%)

	R7.3	R7.6	R7.9	R7.12
りそな	1,975.7	2,028.6	2,086.6	2,218.6
	1.38	4.98	10.72	17.61
三井住友信託	469.2	493.4	522.5	553.4
	-0.19	5.14	11.44	17.81
みずほ信託	412.9	415.6	435.8	462.7
	4.14	0.67	5.82	12.28
SOMPOアセット	117.7	117.7	120.2	120.2
	4.39	0.00	2.18	2.17
日本生命	2,505.7	2,403.7	2,303.8	2,243.4
	1.40	0.12	0.25	0.38
全体	**5,481.1**	**5,459.0**	**5,468.9**	**5,598.4**
	1.52	**2.36**	**5.53**	**9.11**

2 資産別運用状況

(上段 資産額：百万円／下段 通期修正総合利回り：%)

	R7年3月末	R7年6月末	R7年9月末	R7年12月末
国内債券	568.0	584.7	590.9	623.7
	-1.73	-0.08	-0.70	-1.73
国内株式	880.7	919.1	997.9	1,071.2
	-1.94	8.42	18.72	29.10
外国債券	267.4	271.4	279.2	302.2
	1.72	1.32	4.24	11.33
外国株式	809.5	810.8	841.2	898.1
	6.37	5.41	13.63	22.65
私募REIT	400.6	402.3	406.6	409.4
	5.76	0.99	2.81	4.09
一般勘定	2,505.7	2,403.7	2,303.8	2,243.4
	1.40	0.12	0.25	0.38
短期資金	49.1	67.0	49.3	50.3
	0.10	0.11	0.22	0.35
合　計	**5,481.1**	**5,459.0**	**5,468.9**	**5,598.4**
	1.52	**2.36**	**5.53**	**9.11**

3 市場指数の推移

	R7年3月末	R7年12月末	通期騰落率(%)
Nomura-BPI (総合)	349.16	336.03	△3.76
TOPIX (配当込)	4,626.52	6,010.98	29.92
FTSE 世界国債 (除く日本・円換算)	598.49	638.12	11.63
MSCI-kokusai (除く日本・円換算)	8,617.13	11,167.74	29.6
為替 (円/ドル)	149.54	156.75	4.82
日経225	35,617.56	50,339.48	41.33
NYダウ	42,001.76	48,063.29	14.43